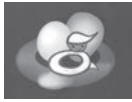


主な内容

各部・委員会報告  
各ブロック活動報告  
令和七年度

全国大会—予定—



# 会報

全国国公立幼稚園・こども園長会

## 持続可能な国公幼

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 高橋 慶子



平素より、会員の皆様には、各地域で子どもたちのために日々ご尽力いただき、また本会の事業推進にも多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年度の総会で承認された諸事項とそれに伴うその後の進捗状況について以下に報告いたします。

◇持続可能な組織づくりに向けた取り組み

・総会・研究大会の東京固定化とオンライン化の検討

令和十年度から予定している東京大会について、オンライン大会の実施も視野に入れた検討を進めています。時代に即した形で、多くの会員が参加しやすい環境を整えることを目指しております。

・特別資金増額および賛助会員制度の周知

各園の皆様のお力添えにより、特別資金や賛助会員制度に関する周知活動が各地で進んでおります。引き続き、関係者

をはじめ多くの方々へ情報を広く届けていただけますようお願い申し上げます。

・会費の検討と事業精選

持続可能な運営を目指し、事業の精選と経費削減を進めると同時に、会費の検討についても議論を進めております。効率的な運営を通じ、会員の皆様への負担軽減に努めてまいります。具体的には総会・研究大会については参加費で賄っていく等が議論されています。

・「幼児教育じほう」発行回数の変更に  
ついて

冊数変更の準備は円滑に進んでおり、編集従事者の負担軽減に繋がっております。引き続き、変わらぬご購読をお願い申し上げます。

◇質の高い幼児教育の実現

文部科学省の「有識者検討会」により取りまとめられた最終報告書では、国公立幼稚園・こども園の役割が改めて明確化されました。この報告書は、国公立園の存在意義を再認識するとともに、今後の園長会の活動における重要な指針となるものと考えます。

①自治体との連携強化

最終報告書がどのように各地域の教育・保育行政に反映されるかを注視しながら、戦略的に対応していく必要があります。各園長会が都道府県や地方自治体と密に連携を図り、国公立幼稚園・こども園の役割を果たすための行動が、幼児教育の振興と発展の鍵となります。地域の教育委員会や管轄機関での進展や取り組みを、ぜひ国公幼へお知らせください。

②架け橋プログラムの推進

幼保小の結節点として、園長は地域の教育人材の中核を担う役割を果たしています。「架け橋プログラム」のさらなる充実に向けて、引き続き積極的に取り組んでまいります。文部科学省の「架け橋期の教育の充実について」に示された指針をもとに、現場からの声を反映した具体的な実践を進めていくことが重要です。

③質の高い幼児教育の充実

国公立幼稚園・こども園が長年にわたって培ってきた研究と研修に基づく実践は、質の高い幼児教育の基盤を成しています。環境を通じた教育や遊びを通じた総合的な指導の価値を改めて見直し、主体的・対話的で深い学びの実践、個別最適な学びや協働的な学びを実現するため、園長として現場を振り返り、実践を深めていきたいと思います。未来を担う子どもたちのための歩みです。

④全国的な連携と情報共有

昨年十一月に開催された都道府県会長・代表者会では、園長先生方の熱意と意欲に満ち溢れた議論が行われました。「全国どこでも質の高い幼児教育を実践する」ということを改めて共有しました。この目標を達成するためには、四十七都道府県のつながりをさらに大切に、国の動向にも敏感に目を向けて、情報発信や共有を積極的に進めることが重要です。本会は、そのような園長先生方を支え、幼児教育を取り巻く環境改善に向けた活動を今後も推進してまいります。

◇最後に

子どもたちに最良の教育環境を提供し、各園の質の高い幼児教育の実現を目指すためには、会員一人ひとりの知恵と行動力が不可欠です。本会が持続可能な組織として、四十七都道府県が共に歩むことで、未来に向けた新たな挑戦に取り組むことができます。これからも皆様と力を合わせて進んでまいります。引き続きのご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。